

発言No. 17

受付No. 2

令和4年6月3日

8時52分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 10番

氏名 串崎 利行

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 農業の振興について

(1) 新規就農者への支援について

- ① 農家減少への危機感が背景にあり、農林水産省が2022年度、新規就農者への支援を刷新し、就農者の機械や施設などの導入、また、就農者の資金を交付すると聞くが、何がどう変わるのか状況を伺う。

(2) 農業人材の多様化について

- ① 全国的な労働力不足を背景に、農業でも多様な人材の登用が求められている。貴重な働き手として農村地域を支えているのが、50歳以上の中高年層であり、農業の生産基盤を強化するには、中高年層に加え、若者や女性、障がい者、外国人実習生などの多様な人材が欠かせないと感じるが、市の考えを伺う。

(3) 農的関係人口について

- ① 地域農業の応援団を増やし、人手不足にも対応し、将来的には移住や就農につながることも期待される。自治体や農業団体などには、こうした「農的関係人口」を創出する仕組みづくりが求められると思うが市の考えを伺う。

(4) 有機農業の拡大について

- ① 農業の環境負担低減に向けた「みどりの食料システム戦略」をきっかけに、有機農業が注目され、国は、2050年までに全耕地の25%に当たる100万ヘクタールに拡大すると掲げている。中山間地などの立地条件、法人経営、家族農業など、多様な農業形態があり、有機農業の取組が難しく感じるが市の考えを伺う。

2 地方公務員の副業について

- ① 人手不足を背景に地方公務員の副業が広がっており、副業には自治体の許可が必要と聞いている。社会貢献につながる副業をしやすいよう環境整備を進める自治体もあるが、市の考えについて伺う。
- ② 現在副業の実績があれば、状況を伺う。
- ③ 浜田市には、職員の地域活動等の表彰制度があり、各種の地域活動や社会貢献活動に積極的に参加する職員を表彰し庁内に周知等を行うことにより、さらに多くの職員の地域活動等への参画を促すとある。今までの実績や現在の状況を伺う。